

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第2回 「リーダーの胆力」

「器量」といえば、「挑太郎」を思い出す。鬼ヶ島遠征の物語は、子供時代、村のお寺の紙芝居でよく聞かされたものである。桃太郎が犬・雉・猿という性質の違った（世にいう犬猿の仲）伴をまとめあげたことを挙げ、世に処する人は「性質の異なった者を容れるだけの雅量」をもたなければならないと新渡戸稲造は『世渡りの道』（一九一二年）で述べている。とかく、競争の名の下に、実は個人感情で排斥をする自称リーダーへの警鐘でもある。

出典

『われ21世紀の新渡戸とならん 一新訂版』

(2018年 イーグレイプ発行 48ページ)